

# ご挨拶

会長 池田 幸智

来るシーズンを迎え、雪に恵まれなかった昨シーズンの反省を含め、総務、競技、教育各部が準備に会議を重ねて、スキーの普及、発展の為に尽力されたことに、まず深く感謝致します。

今、全国的にスノースポーツ人口が減少していますが、我が県に於いても同様であり嘆かわしい事ですが、冬の自然を楽しむこの素晴らしいスポーツを多くの人に理解して頂く様、又後世に繋ぐ義務もあります。

県スキー連盟は各クラブの組織から成り立ち、各郡市連を経て、全日本に繋がる組織ですが、基本は各クラブ員の一人ひとりにあります。より多くの方にこの素晴らしいスポーツを理解し、楽しんで頂く為には、そのクラブ員一人ひとりが仲間を増やし、後輩を創ることが大切と思います。あえて会員増強に皆様方の心強いご協力をお願い致します。

2011年が迫ってきました。競技力向上に又とないご支援やご理解を頂く大きな機会でもあります。秋田国体では残念ですが入賞者が出ませんでした。多くの方々のご支援を頂きながら、ご期待に添えられない無念さは選手、役員一同肝に銘じている筈です。勝負の世界の厳しさは言い訳を必要とは致しません。勝つ為に如何に努力すべきか、如何に全力を尽くせるか、多くの課題を残した国体でした。

大山選手が山口県連に所属し、世界選手権に出場し、活躍してくれた事は大変名誉なことでしたが、それ以上に彼がこの地で生活をし、常々競技に対する努力をしながら、惜しみも無く他の選手にアドバイスしてくれた事、自分の存在には多くの支援があり、感謝の気持ちを何時も忘れずにいると、そして彼の言動は「低く座して、高きを目指す」元日大スキー部監督八木祐四郎氏の座右の銘を忘れず恩師の意を継いでいると感銘しています。猛暑の中での合宿、きららローラー、羅漢山ローラー大会での素晴らしい記録は共に参加したチルドレン選手にも大きな影響を与えたと思います。

さて永年、事務局を周南市に置き、島村事務局長を始め、周南市連には大変お世話になり、ご迷惑もお掛け致しました。心より敬意と感謝を申し上げます。事務量の増加と複雑さで何かと負担の多い事務局ですが、諸事情により11月中旬を以て山口市に移転する事となりました。山口市連の方々には大変なご負担をお掛けする事となりますが、よろしくお願い致します。皆様には慈悲のあるご理解とご協力をお願い致します。

終りになりましたが、このイヤー・ブック並びに各大会、行事に賛同された方々に深く感謝を申し上げます。